

2011年06月29日

当金庫の節電対策について

瀬戸信用金庫（本店：瀬戸市、理事長：鹿島 幸男）は、すでに夏のクールビズ（軽装勤務）を例年より前倒しで5月16日より実施しておりますが、中電浜岡原発全面運転停止に伴う夏場の管内電力供給不足に対応するため、下記の節電対策を実施することといたしました。

記

<主な対策の一例>

- * 電力使用時間の短縮（定時退庫に努める）
- * 営業室内温度28℃の実施（特別な場合を除き午後5時を目安に空調を止める）
- * 営業店ロビー照明の消灯（午後3時以降）
- * エアコンのフィルター清掃（2週間に1回程度）
- * トイレの電気消灯（日中は基本的に電気不使用とする。切り忘れ防止・電灯の間引き等）
- * パソコンの節電対策
 - ・ 不使用時には電源断
 - ・ ディスプレイの明るさを70%程度に下げる
 - ・ スクリーンセ이버機能を停止
 - ・ ディスプレイの自動消灯（5分間操作がない場合）
 - ・ スタンドバイモード（パソコン機能の一時停止機能）に切替わる。（10分間操作がない場合）
- * コピー機の節電モード利用（特に午後1時～4時は、コピー機を極力使用しない）
- * 電気給湯器や電気ポットの使用自粛
- * 外灯の点灯時間短縮（タイマー設定を調整）
- * 本部においては2基の中央エレベーターを時間帯により1台運転停止。又、上下階へは極力階段利用を推進。

<特に6月から9月の午後1時～4時の間に実施の例>

- * 月曜日から水曜日までの午後は、極力、会議・研修を開催しない。
- * 水曜日のほか火曜日を早帰り日とし定時退庫を徹底する。

せとしんは「エコ活動」を応援します！